



異常気象からの警鐘

校長 伊勢 明子

今夏起きた北陸や東北を中心とする豪雨では、線状降雨帯により、1時間に100mm以上の雨が次々と降り続けました。1時間に20~30mmでどしゃぶり、50~80mmで滝のように降る(ゴッポーと降り続く)100mmという雨は、息苦しい程の圧迫感と恐怖を感じる雨だそうです。この猛威により川の氾濫、がけ崩れ、土砂崩れが起き大惨事となりました。

亡くなられた方、被災された方に心よりお悔やみを申し上げます。少しでも早い復旧、復興が行われ、落ち着いた日々が取り戻せるよう祈るばかりです。

また、今夏も、気候変動によるものとされる異常高温に翻弄され、観測史上なかったような豪雨を記録しました。「命に関わる暑さ」という言葉を一日に何回も見聞きしました。ここ数年は、このような状況が続いています。数年前、通勤途中、暑い日差しの中道路脇でしゃがみ込んでいるお年寄りを通りかかった何人かで介抱しました。タオルを水で濡らし首筋を冷やしたり、自動販売機でスポーツドリンクを求め飲むように促したりしました。通りかかりの人も他人事ではないという感じで、保冷パックをくれたり、警察官を呼びに行ったりしました。そのうちに救急車が来てお年寄りは、病院に向かいました。

暑さが災害になり、人命を脅かすことを感じずにはいられません。日本ばかりでなく世界各地でも同様なことが起きており、森林火災の被害も深刻です。

札幌	41℃、晴れ	仙台	42℃、晴れ
新潟	43℃、晴れ	東京	44℃、晴れ
大阪	43℃、晴れ	名古屋	44℃、晴れ
高知	42℃、晴れ	福岡	42℃、晴れ
那覇	39℃、晴れ	小笠原	37℃、晴れ

上表は、東京都小中学校環境教育研究発表会の「2100年の天気予報～地球温暖化について考えよう～」の授業で使用された「2100年夏:明日の最高気温」の予想です。今から88年後の気温ですが、ここ最近の夏を経験している私達にとっては、37℃や39℃という数値には、驚かなくなっているのではないかと思います。そして、もう少し近い将来2050年では、温暖化対策の有無によらず、これまでと同じように気温が上昇するといわれています。温室効果ガスは、すぐに大気中からなくなるものではないからです。そして2100年迄では、その間、温暖化対策を何もしないと夏、上表のような気温になるそうです。

最近の異常気象やそれとは無関係ではない災害は、現代に生きる私たちへの警鐘と言えるでしょう。もうまったなしのところに来ているのかもしれない。教育のできることを今以上に子供たちと考え、実施していくことが求められていると感じています。

9月の生活目標『落ち着いて生活しよう』

生活指導部

今年の夏休みは、コロナウイルス感染拡大の影響や、猛暑日などもあり、普段とは異なる過ごし方をされた御家庭も多かったと思います。夏休み前に、子供たちには「火・水・車・不審者・コロナウイルス予防」に気を付けて生活し、始業式には元気な顔を見せてください、という話をしました。2学期が始まり、元気に登校する子供たちの姿が見られ安心しました。子供たちは、久しぶりに友達に会い、2学期の期待が大きく膨らんでいると思います。わくわくする気持ちは、ともすれば落ち着かなくなり、思わぬ事故につながることもあります。今月は2学期の目標に向けてよいスタートがきれるように、学校のきまりを再度確認し落ち着いた生活ができるように促していきます。まだまだ暑い日が続きますので、熱中症対策(水筒・帽子)の御協力をお願いします。